

校長室だより

No. 28

平成30年11月9日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

「つらいのは自分だけではない」 —修学旅行 座禅の説法から—

修学旅行日程

【1日目】

6時40分 学校集合

7時00分 学校発

10時30分 法隆寺見学

11時55分

法隆寺近くの店で昼食・土産

13時30分

東大寺・奈良公園内班別行動

16時40分 建仁寺座禅体験

18時35分

京都駅スカイウォーク見学

19時15分 旅館・夕食

20時40分 入浴

22時00分 就寝

【2日目】

6時00分 起床

6時45分 朝食

7時50分 清水寺見学

9時00分 二条城見学

10時20分

嵐山～北野天満宮班別行動

・昼食

13時40分 金閣寺見学

15時10分 京都発

18時30分 解散式

修学旅行のバスが、下青野西の信号を曲がり、住宅から田畑に景色が変わると、左手の遠くからわたしたちに「お帰り」とよんでいるように、校舎の明かりが見えました。夕方6時半ごろは真っ暗のはずなのに、校舎のすべての教室に明かりがついていました。わたしたちの帰りをみんなで迎えてくれたのでした。このとき「楽しすぎて（思い出を）忘れちゃいそう」と思わず声を漏らしたのが、6年1組の萩原権君でした。

11月なのに汗ばむほどの陽気の中、全日程をほぼ計画の5分以内の誤差で完遂。ある会社のタクシー1,400台の内4台しかない四葉マーク（他は三つ葉、2台だけ双葉）のタクシーを2、3度見ることができた運の強い子供たち。6年生の先生たちが、子供たちに楽しい思い出を作らせてあげたいと細やかに考え動いていた配慮も成功につながっていたと思います。権君のこの一言は、子供たちみんなの感想を代弁していると思いました。

そして左の訪問先で、わたしの心に残った場所が、昨年と同様に建仁寺の和尚さんの話でした。

建仁寺では座禅をし、その後、正座で40分ほど和尚さんの説法を聞きます。わたしたちも正座で話を聞きますが、なかなかつらい。正座経験の少ない子供は、もっとつらかったでしょう。そのつらい状況で聞く話の中で、心に残った言葉が一つありました。それは、「つらいのは自分だけではない」でした。

長い時間、正座をさせながら説法をしていたのは、みんな同じ状況で同じ痛みを感じる経験をさせるためでした。痛みを我慢し、じっと



【建仁寺 いざ座禅へ】

動かず話を聞く人もいれば、我慢できずぐらぐら動き出す人もいます。この例を使って、「つらいのは自分だけではない。これから人との別れ（死の出会い）など、地獄の苦しみを感じる時は3度来るといわれている。そんなときに、『なんで自分だけこんなつらい思いをするのか』と思うかもしれない。しかし、自分だけがつらいのではない。みんなつらい思いをする。世の中にじっと我慢している人がいる。人の苦しみがわかることが禅の意味」とおっしゃいました。

このところ、「我慢」の言葉を聞くことが少なくなってきたように感じます。わたしは2年連続で同じ方から説法を聞きましたが、昨年とまた違った部分で貴重な経験と話をもらえたと感じています。子供たちは、班別行動や見学地、宿泊が一番の思い出になっているのでしょうか。しかし、貴重な学びを本場で味わえた、意義ある旅行になったと感じています。

先生たちから中部小のみんなへおすすめの本紹介

－「小学生におすすめの本」「小学生のうちに読んでおきたい本」第1弾－

今週の木曜日は図書委員会主催の図書集会がありました。今はもみじ読書週間であり、その一環です。この集会では、図書委員が自分の担当学級の子を集めて読み聞かせをしました。3週間前からどの本を読むと喜ばれるかを考え、練習したそうです。読み聞かせの様子を見ていると、さすが学芸会を終えた後



【11月8日（木）図書集会】

です。抑揚をつけて上手に読む姿があちらこちらに見られました。このほか「歴史シリーズ」「童話シリーズ」など、書かれたテーマの本を読んだらカードに題名を書きスタンプラリーをする企画を実施してくれています。

図書委員会ががんばってくれています。先生たちも今週から数回に分けて、おすすめの本紹介を掲載することにしました。見つけたら読んでみてくださいね。

紹介者	おすすめの本	作者等	おすすめポイント
本多友則先生	ミリーのすてきなぼうし	きたむらさとし	自分の想像次第で素敵なものに変わることを教えてくれる本
石川 駿先生	ルドルフとイッパイアッテナ	斉藤 洋	冒険と友情に胸が熱くなる本
竹村優佑先生	手ぶくろを買いに	新美南吉	4年生で読む「ごんぎつね」とつながりを感じて読むとよい本
土井由香先生	としょかんライオン	ミシェル・ヌードセン	図書館という場所を通して心の交流の素晴らしさを感じる本
遠藤紫英良先生	とんでもプリンセスとドラゴン おわりのないぼうけん	アンナ・ケンプ	プリンセスの冒険やいたずらにワクワク、ドキドキする本
伊庭千恵子先生	ともだちから ともだちへ	アンソニー・フランス	自分を大切に思ってくれる人がいると幸せになることを感じる本